

鴨川市コミュニティバス
平成 30 年度運行実績について

令和元年 6 月

鴨川市経営企画部まちづくり推進課

[目 次]

1 運行の概要	- 2 -
(1) 運行概要	- 2 -
(2) 運賃	- 2 -
2 運行等の実績	- 3 -
(1) 総輸送者数	- 3 -
(2) 1 便当たり輸送人員	- 4 -
(3) 有料広告の受付状況について（※平成 30 年度中に受け付けたもの）	- 4 -
(4) 収支	- 5 -
(5) 10 人以上の乗車実績	- 5 -
3 ノーカー・サポート優待証について	- 6 -

1 運行の概要

(1) 運行概要

- ・北ルート
- ・清澄ルート
- ・南ルート

	路線名	運行区間	運行本数 (往復)	運行日数 (日)	キロ程 (k m)	停留所 (箇所)
1	北ルート	金山ダム ⇄ 内浦山県民の森	3.0	365	27.05	
		金山ダム ⇄ 鴨川駅西口	1.0	365	7.39	
		路線計	4.0	365	27.05	59 (※1)
2	清澄ルート	天津小湊支所 ⇄ 奥清澄	7.0(6.5) (※4)	365	12.89	
		路線計	7.0(6.5)	365	12.89	20 (※2)
3	南ルート	鴨川駅前 ⇄ 曾呂終点	3.0	365	27.40	
		鴨川駅西口 ⇄ 曾呂終点	1.0	365	15.78	
		鴨川駅前 ⇄ 浦の脇	1.0	365	4.05	
		路線計	5.0	365	27.40	53 (※3)
合計			16.0 (15.5)	365	－	－

(※1) 重複停留所数 (南ルート：10、清澄ルート：2)

(※2) 重複停留所数 (北ルート：2)

(※3) 重複停留所数 (北ルート：10)

(※4) 4月～9月は7往復、10月～3月は、6.5往復 (下り第7便が季節運行のため)

(2) 運賃

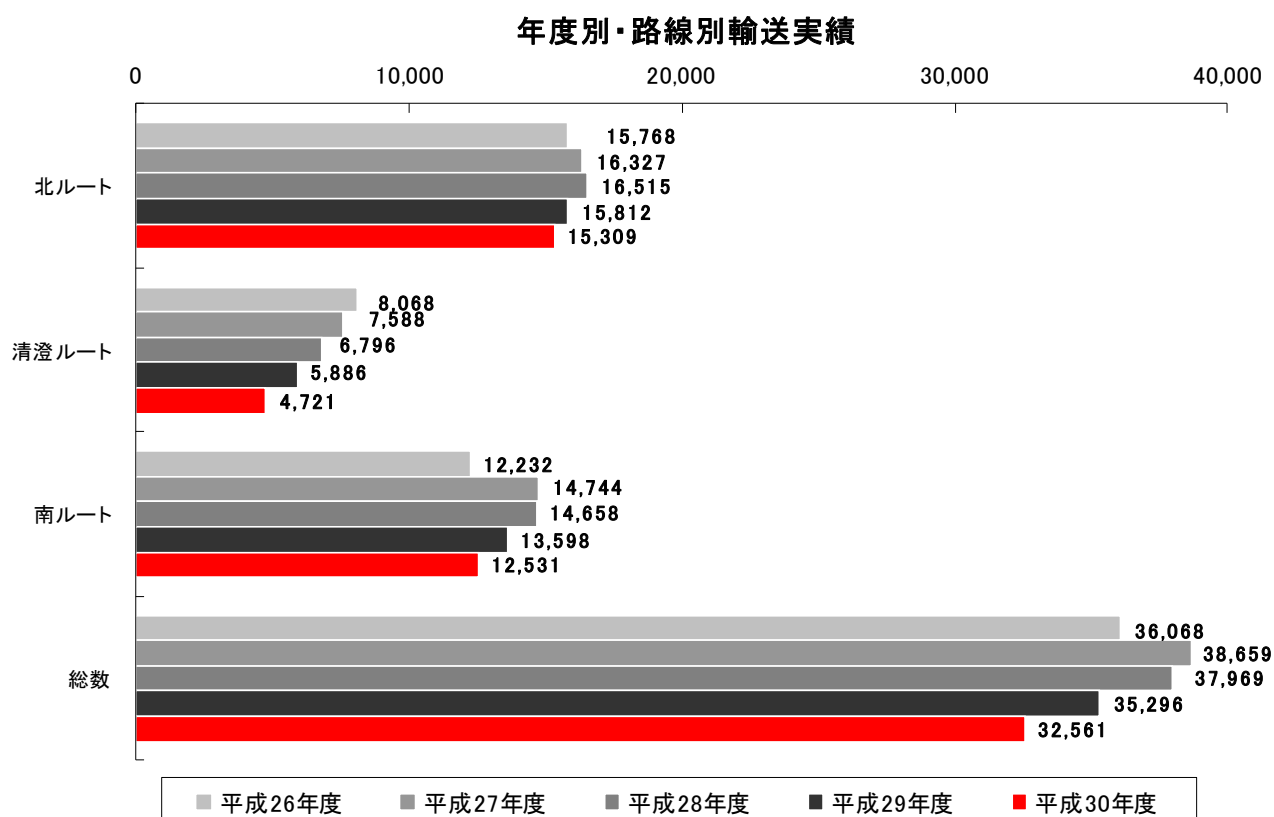
	路線名	形態	通常運賃	特 例
1	北ルート	対キロ区間制	150 円～860 円	(半額) 小学生、身体障害者手帳・療育手帳・ノー カーサポート優待証所持者、精神障害者保 健福祉手帳の交付を受けた者及び介護人 (無料) 未就学児童
2	清澄ルート	簡素化制	200 円・400 円	
3	南ルート	対キロ区間制	150 円～740 円	

2 運行等の実績

(1) 総輸送者数

平成30年度の輸送実績は32,561人で、平成29年度の35,296人から延べ2,735人・7.75%と大幅に減少した。

路線別の輸送実績を見ると、北ルートが延べ503人・3.18%の減少、清澄ルートが延べ1,165人・19.79%の減少、南ルートについては、延べ1,067人・7.85%の減少であった。



○年度別・系統別輸送実績

[人]

	ル ー ト	系 統	H30	H29	H28	H27	H26	比較増減 (H30－H29)
1	北	金山ダム ⇨内浦山県民の森	14, 680	15, 038	15, 237	14, 984	14, 315	▲358
		金山ダム ⇨鴨川駅西口	629	774	1, 278	1, 343	1, 453	▲145
		小 計	15, 309	15, 812	16, 515	16, 327	15, 768	▲503
2	清澄	天津小湊支所 ⇨奥清澄	4, 721	5, 886	6, 796	7, 588	8, 068	▲1, 165
		小 計	4, 721	5, 886	6, 796	7, 588	8, 068	▲1, 165
3	南	鴨川駅前 ⇨曾呂終点	9, 615	9, 733	9, 519	9, 935	10, 737	▲118
		鴨川駅西口 ⇨曾呂終点	2, 265	3, 192	4, 203	4, 088	674	▲927
		鴨川駅前⇨浦の脇	651	673	936	721	821	▲22
		小 計	12, 531	13, 598	14, 658	14, 744	12, 232	▲1, 067
合 計			32, 561	35, 296	37, 969	38, 659	36, 068	▲2, 735

(2) 1 便当たり輸送人員

1 便当たりの輸送人員が最も高い数値であったのは、北ルートの金山ダム⇄内浦山県民の森間で、6.7 人/便で、北ルート全体としては、5.4 人/便から 5.2 人/便へと 0.2 人/便の減少となった。

南ルートについては、鴨川駅前⇄曾呂終点間、鴨川駅前⇄浦の脇間は共に横ばい、鴨川駅西口⇄曾呂終点間が、4.4 人/便から 3.1 人/便へと 1.3 人/便大きく減少した。

南ルート全体では、3.7 人/便から 3.4 人/便へと 0.3 人/便の減少となった。

清澄ルートについては 1.2 人/便から 1.0 人/便へと 0.2 人/便の減少であった。

全ルートの合計では、平成 29 年度と比較し、0.3 人/便減少の 2.8 人/便となった。

○年度別・路線別 1 便当たりの輸送人員

	ル ー ト	運行区間	運行回数 (往復)	路線別 1 便当たりの輸送人員 (人/便)					
				H30	H29	H28	H27	H26	増減 (H30-H29)
1	北	金山ダム ⇨内浦山県民の森	3.0	6.7	6.9	7.0	6.8	6.5	▲0.2
		金山ダム ⇨鴨川駅西口	1.0	0.9	1.1	1.8	1.8	2.0	▲0.2
		路線計	4.0	5.2	5.4	5.7	5.6	5.4	▲0.2
2	清澄	天津小湊支所 ⇨奥清澄	7.0 (6.5)	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	▲0.2
		路線計	7.0 (6.5)	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	▲0.2
3	南	鴨川駅前 ⇨曾呂終点	3.0	4.4	4.4	4.3	4.5	4.9	0
		鴨川駅西口 ⇨曾呂終点	1.0	3.1	4.4	5.8	5.6	0.9	▲1.3
		鴨川駅前⇨浦の脇	1.0	0.9	0.9	1.3	1.0	1.1	0
		路線計	5.0	3.4	3.7	4.0	4.0	3.4	▲0.3
合計			16.0 (15.5)	2.8	3.1	3.3	3.4	3.3	▲0.3

(3) 有料広告の受付状況について (※平成 30 年度中に受け付けたもの)

受付	広告主	業種	掲載場所	掲載期間	規格[mm]	広告料
1	A 社	福祉介護施設	北・南ルート バス車体後部	北 : H30. 7 ～ H30. 8 南 : H30. 9 ～ H30. 10	400×800	7,680
2	B 社	福祉介護施設	北ルート バス車体後部	H30. 7. 1 ～ H30. 12	200×1000	7,200
計						14,880

(4) 収支

平成 29 年度と比較すると、運行費用は 2,352 千円・6.9%増加し、運行収入は 329 千円・5.3%減少した。なお、車両広告にかかる収入は、2 件・39 千円から 2 件・15 千円と減小した。

収入と支出の差し引きが▲30,327 千円と 2,705 千円増加した結果、収益率は平成 29 年度と比較して 2.2%悪化した。

乗客 1 人当たりの市負担額は、平成 29 年度から 148 円増加し 931 円であった。

また、当該コミュニティバスは、平成 27 年 4 月運行分から国庫補助対象となっており、平成 30 年度は 7,489 千円を収入した。

項 目		H30 (千円)	H29 (千円)	比較増減 (H30-H29)	
				増減 (千円)	増減率 (%)
運行事業者 (委託先)		鴨川日東バス(株)	鴨川日東バス(株)	—	—
支出	運行費用	36,195	33,843	2,352	6.9
収入	運行収入	5,853	6,182	▲329	▲5.3
	広告収入	15	39	▲24	▲61.5
差し引き		▲30,327	▲27,622	▲2,705	▲9.8
収益率		16.2%	18.4%	—	▲2.2
国庫補助 (平成 30 年度分)		7,489	8,364	▲875	▲10.5
乗客 1 人当たり市負担額 (括弧内は国庫補助含む)		931 円 (701 円)	783 円 (546 円)	148 円 (155 円)	18.9 (28.4)

※増減の額及び率について、端数処理の都合上、表の数値による計算と一致しない場合があります。

(5) 10 人以上の乗車実績

平成 30 年度において、同時に 10 人以上が乗車した便数は、全ルートで 332 便 (全便数 11,498 便の 2.9%) であり、平成 29 年度と比べて 55 便・約 14.2%の減少で各ルートとも減少した。

○10 人以上の乗車便数

	ルート	使用車両 (乗車定員)	H30 [便]	H29 [便]	H28 [便]	H27 [便]	H26 [便]	増減 (H30-H29)		最大 乗車人員 [人]
								[便]	[%]	
1	北	日野ポンチョ (27)	173	201	240	207	208	▲28	▲13.9	36
2	清澄	トヨタハイエース (12)	15	17	17	15	15	▲2	▲11.8	25
3	南	日野ポンチョ (27)	144	169	189	199	26	▲25	▲14.8	21
合 計			332	387	446	421	249	▲55	▲14.2	—

3 ノーカー・サポート優待証について

高齢運転者による交通事故の抑止と公共交通の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した 65 歳以上の高齢者を対象に交付する「ノーカー・サポート優待証」による運賃半額割引制度（高速バスを除く）が平成 23 年 7 月 1 日から日東交通グループ 4 社において一斉に施行されており、コミュニティバスにおいても、同制度による運賃割引を可能としている。

この平成 30 年度における発行状況及び利用者数は下表のとおりであった。

まず、発行枚数を見ると、平成 29 年度は 66 枚、平成 30 年度は 72 枚と増加した。

コミュニティバスでの利用者数（延べ使用回数）は、平成 29 年度は 926 回、平成 30 年度は 847 回の利用であった。

発行年月	発行枚数	利用者数（延べ使用回数）	
		鴨川日東バス管内	うちコミュニティバス分
H 3 0 . 4	6	2 5 1	6 2
H 3 0 . 5	1 1	2 4 4	6 6
H 3 0 . 6	5	2 2 8	7 1
H 3 0 . 7	5	2 1 9	7 4
H 3 0 . 8	2	2 3 1	6 9
H 3 0 . 9	3	2 6 7	8 1
H 3 0 . 1 0	6	2 3 5	7 2
H 3 0 . 1 1	2	2 4 5	7 4
H 3 0 . 1 2	6	2 3 9	7 3
H 3 1 . 1	1 0	2 6 4	6 8
H 3 1 . 2	7	2 5 0	6 6
H 3 1 . 3	9	2 6 6	6 6
平成 30 年度計	7 2	2, 9 3 9	8 4 7
～平成 29 年度	2 9 1	1 3, 8 6 4	3, 6 9 4
累計	3 6 3	1 6, 8 0 3	4, 5 4 1

※利用者数は乗務員からの報告による。

※利用路線は、下記のとおり（高速バスは利用不可）

- 1) 市内線 2) 木更津線 3) 長狭線 4) 金谷線 5) 館山鴨川線 6) 大学線
7) 太海線 8) コミュニティバス